

# カトリック福岡司教区 DIOCESE OF FUKUOKA

カトリック福岡司教館  
810-0028 福岡市中央区浄水通 6-28  
TEL092-522-5139 fax 092-523-2152

Bishop's House  
6-28 Josuidori, Chuo-ku  
810-0028 Fukuoka, JAPAN

福岡 2021年2月5日

福岡教区兄弟姉妹の皆さん

もうすぐ四旬節が始まります。新型コロナウイルスの感染が止まらない中で、教会の歩みに様々な制限が生じてきています。実際に、福岡県と熊本県では、先月の緊急事態宣言が発令されてから、公開ミサが行われていません。皆様にとって教会共同体の中心であるミサに共に与れないのは、とてもつらいことですが、現在の厳しい状況を考えてこれをお願いいたしました。皆様のご協力を心から感謝いたします。その間、カテドラルから毎週の日曜日のミサをライブ配信いたしました。これによって多くの人々は、みことばを聴いて祈りの時間を共に過ごすことができたと思います。

2月2日に日本政府は福岡県を含む10都府県で緊急事態宣言の延長を発表しました。これを受けて、次の通り2月8日(月)から公開ミサの中止の期間を延長することにします。

1. 福岡県内の教会については、緊急事態宣言が解消される日まで。
2. 熊本県内の教会については、県が独自の緊急事態宣言を延長した2月21日(日)まで。

ただし、緊急事態宣言が解消されれば、その日から公開ミサを再開してください。佐賀県では、教区が出しているルールを厳重に守って、公開ミサを行っても結構です。

実際に、わたしたちは、政府が求めている以上の安全対策を取っていますが、「感染しない」「感染させない」ということを念頭に置いて、皆さんにお願いしています。皆様のご理解に感謝しています。尚、その状況の中でもできる活動を続けていただきたいと思います。また、オンラインの可能性もありますので、活用していただければ嬉しく思います。

こういう時だからこそ、聖堂で静かに祈りたい方もいらっしゃると思います。仕事、学校、買い物に出かけた時に、教会に入ればばらく静かに祈ることは力になります。

新型コロナウイルス感染で苦しむ患者の方々、治療や介護にあたる医療関係者、困難な状況に置かれているの方々、信者の世話にあたる教会関係者、そして亡くなられた方々を心にかけてお祈りいたします。一日も早くウィルスの終息を祈るばかりです。



ヨゼフ アベイヤ  
福岡教区司教